

第2回古文書解読コンテスト表彰式

先日結果発表を行った第2回古文書解読コンテストについて、上位3名の入賞者をお招きして表彰とトークセッションを行います。コンテスト参加者以外の方も見学していただけます。

【日時・会場】

日時：令和8年1月25日（日）午前10時～正午（予定）

第1部：午前10時00分～10時15分

第2部：午前10時30分～正午

会場：高遠町総合福祉センターやますそ2階 201・202会議室

【内容】

第1部：表彰式

- ①表彰状および賞金目録授与
- ②講評（伊那市教育長）

第2部：受賞者およびコンテスト関係者によるトークセッション

【参加者】

受賞者（以下3名）

第1位：仁ヶ竹亮介氏（富山県）

第2位：茨木正子氏（大阪府）

第3位：吉田亜希子氏（埼玉県）

関係者：加納靖之氏（東京大学地震研究所准教授）、橋本雄太氏（国立歴史民俗博物館准教授）、堀井洋氏（合同会社AMANE代表）、前田和弘氏（地域おこし協力隊隊員）

※当事業は、伊那市の地域おこし協力隊である前田和弘氏が立ち上げ、伊那市、みんなで翻刻（国立歴史民俗博物館、東京大学地震研究所、京都大学古地震研究会）、合同会社AMANEによる共同開催で行うものです。

【主催者】

伊那市教育委員会／みんなで翻刻／合同会社AMANE／古文書解読コンテスト事務局

第2回：古文書解読コンテスト公式サイト：<https://www.komonjo-contest.com/>

お問い合わせ：komonjo.contest@gmail.com（地域おこし協力隊 前田和弘）

添付資料 有 無



— 第2回 —

古文書解読コンテスト

表彰式&トークセッション

今年8月より4か月にわたり開催いたしました「第2回：古文書解読コンテスト」が、このたび盛況のうちに幕を閉じました。

本コンテストには全国各地から多くの方々にご参加いただき、伊那市高遠町の貴重な古文書資料の解読にご尽力いただきました。解読された文字数は実に215万文字に及び、地域の歴史を紐解く大きな一歩となりました。

この偉大な成果を記念し、受賞者の方々と関係者を高遠町にお招きして、表彰式とトークセッションを開催いたします。どなたでも無料でご観覧いただけます。コンテストの熱気をぜひ会場でご共有ください。

2026
1/25 (日)
AM 10:00~12:00
高遠町総合福祉センター
やまとそ2階

トークセッション出演者



加納靖之氏（東京大学地震研究所准教授）

専門は地震学、自然災害科学。京都大学古地震研究会のメンバーとして「みんなで翻刻」の開発・運営に携わり、同プロジェクトは Library of the Year 2020 大賞を受賞。歴史地震研究において歴史資料の活用とデジタル技術の融合に取り組んでいる。



橋本雄太氏（国立歴史民俗博物館准教授）

専門は人文情報学（デジタル・ヒューマニティーズ）。市民参加によって古文書を解読するプラットフォーム「みんなで翻刻」を開発・運営。その他にも「くずし字学習支援アプリ KuLA」「じせデジリーダー」など、歴史学と情報学を融合させたツールの開発を多数手がけている。



堀井洋氏（合同会社 AMANE 代表）

専門は情報システム学。2009年合同会社 AMANE（あまね）を設立。高度な専門知識・技能を有した研究者・学芸スタッフなどの学術専門人材が所属し、国内に散在する古典籍、歴史的・民俗学的な学術資料の保存・継承・研究・活用などに幅広く取り組んでいる。